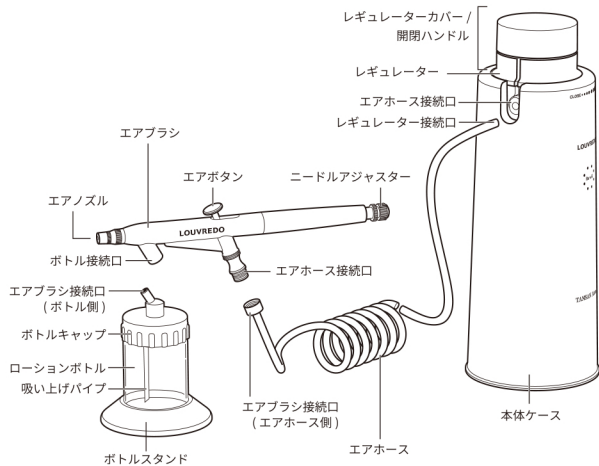


炭酸アトマイザー



●本体仕様

品名・型名	炭酸アトマイザー		
重量	約 362g(本体ケース・レギュレーター含む)		
サイズ	幅:約 75φ × 高さ:約208mm		
材質	ABS・エラストマー		
レギュレーター	調整圧力: 0.15MPa (±0.03) 安全装置: 0.2-0.35 で安全弁作動 使用環境温度: 0-40℃ 材質: 真鍮、他		

●付属品仕様 (エアブラシセット)

品名・型名	エアブラシ		
重量	約 86g	エアノズル径	0.3mm
サイズ	長さ:約 154 × 高さ:約 40 × 幅:約 10mm		

品名・型名	ローションボトル		
重量	約 57.9g	噴き出し径口	2.9mm
サイズ	幅:約 35φ × 高さ:約70mm	内容量	22mL

●付属品仕様 (エアホース)

品名・型名	エアホース		
サイズ	幅:約 4φ × 長さ:約2m		

※ローションボトル、エアホース、ガスカートリッジは消耗品のため、保証対象外です。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われる時は、まず以下の内容をご確認いただき、処理を行ってください。

症状・点検項目	考えられる原因	処理方法
炭酸ガスがシューと出始めて数秒後にガスが出にくくなる	炭酸ガスカートリッジが正しく装着されていない可能性があります。	取り外したり、装着し直したりしないでください。ガス漏れや故障、事故の原因になります。窓口までお問合せください。
炭酸ガスが漏れる音がする	エアホースとレギュレーター、エアブラシがきちんと接続されていない。	エアホース接続口とレギュレータージョイント、エアブラシジョイントにしっかりとねじ込んでください。 参照 →
	炭酸ガスカートリッジが最後までねじ込まれていない。	炭酸ガスカートリッジを本体ケースにしっかりとねじ込んでください。 参照 →
	レギュレーター内のパッキンの破損が考えられます。	修理可能です。お問合せください。 ※レギュレーターパッキンは消耗品のため保証対象外です。
使用していないのに炭酸ガスがなくなってしまった	安全上、長期間使用しないと微量ずつ炭酸ガスが抜ける設計のため	炭酸ガスカートリッジの交換を行ってください。 参照 →
エアブラシのエアボタンを押しても炭酸ガスが出ない	炭酸ガスが無くなっている。	炭酸ガスカートリッジの交換を行ってください。 参照 →
	レギュレーターの開閉ハンドルがOPENになっていない。	開閉ハンドルをOPEN方向に止まるまで回してください。 参照 →
ミストが噴霧されない	エアブラシのニードルアジャスターが閉じている	エアブラシのニードルアジャスターを調節します。 参照 →
	ローションボトルがエアブラシから外れている。	ローションボトルをエアブラシにきちんと接続してください。 参照 →
	化粧水などが、ローションボトルの蓋に接続されている吸い上げパイプの位置に届いていない。	化粧水などを吸い上げパイプの先がうる位置まで注ぎ込んでください。
	エアブラシのエアボタンを押すだけ、スライドさせるだけではミストは出ません。	エアボタンを押しながら後ろにスライドさせてください。 参照 →

ご使用前の準備 〈本体のセット〉

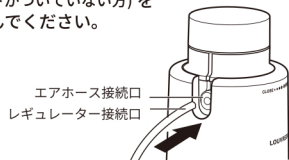
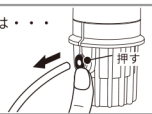
- 1 開閉ハンドルが【CLOSE】方向(時計回り)へ止まるまで回っていることを確認します。回っていない場合は止まるまで回してください。



- 2 エアホースのレギュレーター接続口(ジョイントがない方)をレギュレーターのエアホース接続部に差し込んでください。

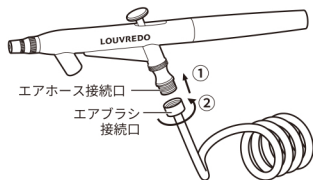
●奥までしっかり差し込んでください。

エアホースを外したい場合は・・・
エアホース接続口の黒い樹脂部分を押しながら引き抜いてください。



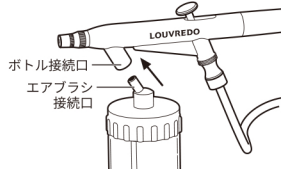
- 3 エアホースのエアブラシ接続口をエアブラシのエアホース接続口にねじ込んでください。

●回らなくなるまでしっかりねじ込んでください。



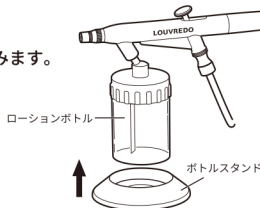
- 4 ローションボトルとエアブラシを接続します。ローションボトルのフタのエアブラシ接続口と、エアブラシのボトル接続口を右図のように差し込んでください。回したりせず、押し込むだけでセットできます。

●止まるまでしっかり押し込んでください。
●簡単に外れないか確認してください。



- 5 ローションボトルにボトルスタンドを取り付けます。ローションボトルの底面にボトルスタンドをはめ込みます。

●止まるまでしっかりはめ込んでください。
●簡単に外れないか確認してください。
●ローションボトルとエアブラシが倒れないことを確認してください。



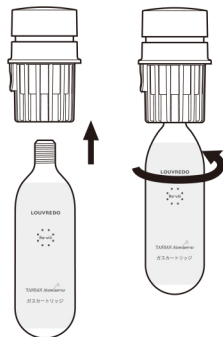
ご使用前の準備 〈炭酸ガスカートリッジのセット〉

⚠ 注意 ●炭酸ガスカートリッジを落下させないでください。

- 6 本体ケースを支えながら、レギュレーターカバーを上を持ち上げて、レギュレーターカバーを取り外してください。



- 7 炭酸ガスカートリッジのキャップを外してください。レギュレーターカバーをしっかりと持ち、レギュレーターの取り付け口に炭酸ガスカートリッジの吐出口をあて、時計回りにねじ込んでください。



- 8 炭酸ガスカートリッジを軽くねじ込んでいき、突き当たったような抵抗感が出た後、握り直し、力強く一気に最後までねじ込んでください。

●レギュレーターのパインが炭酸ガスカートリッジに刺さる際、「シュー」という音が出ますが、完全にねじ込みが終わると、音はしなくなります。

※装着時、炭酸ガスカートリッジは非常に冷たくなるおそれがありますので、素手で触らず、手袋やゴム手袋を装着してください。

※装着時、炭酸ガスカートリッジは、必ず立てた状態でレギュレーターに接続してください。

※ねじ込んでいる途中で絶対にゆるめないでください。

※一度取り付けた炭酸ガスカートリッジは、炭酸ガスを使い切るまでは絶対に外さないでください。

※炭酸ガスカートリッジ装着後は、必ず立てた状態で使用・保管してください。横にして使用すると液化炭酸ガスがレギュレーター内に流れ込み、故障やガス漏れ、凍傷の危険があります。



- 9 レギュレーターカバーを本体ケースにセットします。

●本体ケースのくぼみにレギュレーターのエアホース接続口が収まるようにセットしてください。



ご使用方法〈本体のセット〉

レギュレーターのご使用方法

- レギュレーターの開閉ハンドルを回すことで、エアブラシへの炭酸ガスの供給を操作することができます。

使用するとき(炭酸ガスを供給する場合)

開閉ハンドルを【OPEN】方向(反時計回り)に止まるまで回します。

- 使いはじめはハンドルが止まるまで回してください。その後【CLOSE】方向(時計回り)に少しずつ回すことで、ガスの圧力を調節できます。



使用后(炭酸ガスを供給しない場合)

開閉ハンドルを【CLOSE】方向(時計回り)に止まるまで回します。



化粧水などの注入

- ローションボトルのキャップを回し開け取り外します。

- 化粧水を注ぎ込んで、ボトルのキャップをしてください。

- 化粧水をボトルの肩口まで入れると、約 22mL になります。



ご使用方法〈エアブラシの使い方〉

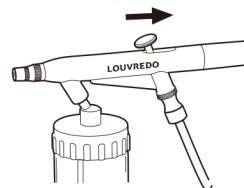
エアブラシの噴き出し確認

- レギュレーターの開閉ハンドルを【OPEN】方向(反時計回り)に止まるまで回し、炭酸ガスの供給を開始します。

- エアブラシのエアノズルの手の甲に向け、エアボタンを押しながら後ろへスライドさせてミストが噴射されるのをご確認ください。

ボタンを後ろへスライドできない場合は、噴霧量の調節のしかたをお読みください。

押しながらスライド



噴霧量の調節のしかた(ニードルアジャスター)

- エアブラシの最後部のニードルアジャスターを回すことで、ミストの噴霧量を調節することができます。

ニードルアジャスター



噴霧量を多くしたい

LOUVREDOロゴが印字されている方向に回します。



- 回しすぎると外れますので、回しすぎないようにご注意ください。

広がる



エアボタンのスライド稼働幅が広がり噴霧量が多くなります。

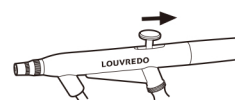
噴霧量を少なくしたい

LOUVREDOロゴが印字されている方と反対方向へ回します。



- 止まるまで回すと、エアボタンが動かせなくなり、噴霧でなくなります。

狭くなる



エアボタンのスライド稼働幅が狭くなり噴霧量が少なくなります。

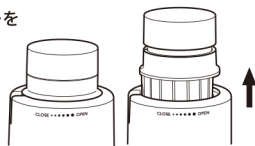
炭酸ガスカートリッジの交換方法

開閉ハンドルを「OPEN」方向（反時計回り）に止まるまで回した状態で、エアブラシのエアボタンを押しても炭酸ガスが噴射されない場合は、炭酸ガスカートリッジの炭酸ガスがなくなっていますので、炭酸ガスカートリッジの交換を行ってください。

- 1 開閉ハンドルを「CLOSE」方向（時計回り）に止まるまで回してください。

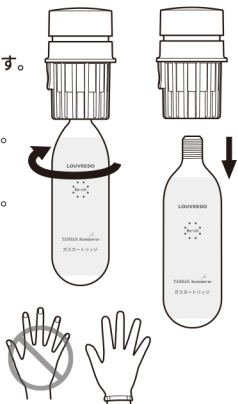


- 2 本体ケースをしっかりと持ち、レギュレーターカバーを上方向に引き上げ、レギュレーターカバーを炭酸ガスカートリッジごと引き抜いてください。



- 3 レギュレーターカバーをしっかりと持った状態で炭酸ガスカートリッジを矢印の方向に回し取り外します。

- ※炭酸ガスカートリッジを取り外す途中で「シュー」という音がした場合は、音がなくなるのを待ってから取り外してください。
- ※使用済みの炭酸ガスカートリッジは蓋（封板）に穴があいていることを確認のうえ、不燃物としてお住まいの地域の条例に従って処理してください。
- ※使用后、炭酸ガスカートリッジは非常に低温となっています。炭酸ガスカートリッジを装着・取り外しの際は、单手などを使用し、絶対素手では触らないでください。
- ※濡れた手での炭酸ガスカートリッジの装着は絶対におやめください。



- 4 新しい炭酸ガスカートリッジを装着します。

- 装着方法は8ページをご参照ください。
- 炭酸ガスカートリッジの取り付け上のご注意については8ページをご参照ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになるご本人や周囲の人々への危害・物的損害を未然に防止するため、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

表示の分類

本書では、必ずお守りいただく事項を以下のように分類しています。

	警告 人が死亡したり重大な危害を受ける可能性がある内容を示します。		注意 人が負傷したり、物が破損する可能性がある内容を示します。
--	---	--	---

図記号の意味


	してはいけない内容を示します。		必ず実行しなければならない内容を示します。
--	-----------------	--	-----------------------

警告

	下記の人は必ず専門医に相談のうえ使用してください。 急性疾患の方 / 悪性腫瘍のある方 / 妊娠中、妊娠と思われる方 / 生理中の方（ホルモンバランスが不安定で、肌トラブルの原因となることがあります。）/ アレルギー体質で敏感肌の方 / 皮膚炎、過度の日焼けなど、皮ふに異常のある方 / 肌へ傷や滲疹、腫れものなどのある方 / アトピー性皮膚炎の方 / ステロイド系ホルモン剤の長期使用や肝機能障害で毛細血管拡張を起こしている方 / 医師の治療を受けている方や、特に身体に異常を感じている方 / 化粧品・消毒剤などでかぶれたことのある方 上記以外に身体に異常を感じている方 上記の内容を守らない場合、事故や体調不良を起こすおそれがあります。
	下記の部位には使用しないでください。 指定部位以外 / 傷口 / 目や口の中など粘膜の部位 / 金属・プラスチック・シリコンなどが埋め込まれている部位 / かゆみやほてり、物理的刺激などによる病的なシミのある部位 / 化粧品などで皮膚炎を起こしている部位 事故や体調不良の原因となります。
	使用中に赤み・はれ・かゆみ・刺激などの異常が現れた場合や、使用した肌に直射日光が当たって上記のような症状が現れた場合など、痛感や不調を感じたら、すぐに使用を中止してください。 肌や体の不調の原因となります。また、化粧水・美容液等が肌に関わらない場合も使用を中止し、皮膚科専門医などにご相談ください。そのまま使用を続けると症状が悪化するおそれがあります。
	炭酸ガスカートリッジ装着時に少量のガスが噴射されますが、装着を中断せず、そのまま一気にねじ込み装着してください。 途中で装着を中断されるとガスが噴出し、故障の原因となります。（※12ページ参照）
	使用する際は密室を避け、必ず換気してください。 体の不調の原因となります。
	使用後は必ず開閉ハンドルを「CLOSE」の方向に止まるまで回してください。 ハンドル位置が中途半端な状態では、ガス漏れや事故の原因となります。
	使用済みの炭酸ガスカートリッジは蓋（封板）に穴があいていることを確認のうえ、お住まいの地域の条例に従って不燃物として処理してください。 中身の入った炭酸ガスカートリッジを焼却しますと破裂のおそれがあります。
	炭酸ガスカートリッジはみだりに捨てたり放置しないでください。 破裂の原因となるおそれがあります。
	炭酸ガス漏れなどがあった際は、直ちに開閉ハンドルを「CLOSE」方向に止まるまで回し、速やかに使用を中止し、お客様相談窓口まで連絡してください。 事故の原因となります。



安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 警告	
⊘	本品は炭酸ガスとともに化粧水を噴霧する装置です。他の目的には使用しないでください。高圧ガスを使用しています。体調不良やケガ、製品の破損の原因となります。
⊘	炭酸ガスカートリッジ装着後は必ず立てた状態で使用・保管してください。横にして使用すると液化炭酸ガスがレギュレーター内に流れ込み、故障や炭酸ガス漏れ、凍傷の危険があります。
⊘	指定の炭酸ガスカートリッジ以外は使用しないでください。事故やケガの原因となります。
⊘	炭酸ガスカートリッジは、ガスが完全になくなるまで絶対に取り外さないでください。ハンドル位置が中途半端な状態では、ガス漏れや事故の原因になります。
⊘	使用后、炭酸ガスカートリッジは非常に低温となっています。炭酸ガスカートリッジを装着・取り外しの際は、軍手などを使用し、絶対に素手では触らないでください。凍傷を起こす原因となります。
⊘	濡れた手で炭酸ガスカートリッジの装着は絶対にしないでください。事故やケガの原因となります。
⊘	高圧ガスが噴出しますので、炭酸ガスカートリッジの吐出口を人に向けてください。  事故やケガの原因となります。
⊘	炭酸ガスカートリッジに穴あけ・切断などをしないでください。破裂のおそれがあります。
⊘	本品は直射日光を避け、周辺温度が5℃以下または40℃以上の場所では絶対に使用・保管しないでください。事故やケガ、製品の破損の原因となります。
⊘	本品を濡らしたり、水没させないでください。故障・炭酸ガス漏れの原因となります。
⊘	浴室内での放置はしないでください。万が一、レギュレーターに水分がついた場合は水分を拭きとってください。製品の破損の原因となります。
⊘	本品を分離したり、改造しないでください。事故やケガ、製品の破損の原因となります。
⊘	本品に衝撃を与えたり、転倒させないでください。炭酸ガス漏れや事故の原因となります。
⊘	目に直接噴射したり、使用直後に目をこすらないでください。失明のおそれがあります。
⊘	火の近くや車中で本品を使用・保管しないでください。事故やケガ、製品が破損するおそれがあります。
⊘	本品を振動のある場所や不安定な場所に置かないでください。事故やケガ、製品が破損するおそれがあります。

⚠ 注意	
❗	取扱説明書の内容を十分に理解してご使用ください。事故や故障の原因となります。
❗	本品を持って移動する際は、本体ケースを持ち、落とさないように注意して、真っ直ぐ立てた状態で移動してください。落とすと事故やケガのおそれがあります。
❗	本体に炭酸ガスカートリッジを装着・取り外す際は、必ず開閉ハンドルを「CLOSE」方向に止まるまで回した状態にしてから行ってください。事故やケガ、製品が破損するおそれがあります。
❗	炭酸ガスカートリッジを取り外す際に「シュー」という音がした場合には、炭酸ガスが残っています。この音がなくなるのを確認してから取り外してください。レギュレーター内パッキンの破損の原因、事故やケガの原因となるおそれがあります。
⊘	使用中を中断する際は、使用後はローションボトルをローションボトルスタンドに置いてください。事故やケガ、製品が破損の原因となります。
⊘	お子さまの手の届かない安全な場所に保管してください。不慮の事故を起こす可能性があります。
⊘	炭酸ガスカートリッジに腐食（サビ）、キズ、変形がある場合は使用しないでください。破裂の原因となるおそれがあります。
⊘	炭酸ガスカートリッジは高圧ガスになりますので、飛行機などの気圧の差が大きな乗り物での持ち運びや使用、高地などの気圧や温度差が大きな場所への持ち運びや使用はしないでください。事故やケガ、製品が破損するおそれがあります。
⊘	使用中はエアブラシを強く引っ張ったり、無理に伸ばして使用しないでください。本体が倒れ、事故やケガ、製品が破損するおそれがあります。
⊘	エアホースは、折り曲げたり傷つけたりしないように、お取り扱いください。事故やケガ、製品が破損するおそれがあります。
⊘	使用する際は、噴霧したい部位から約20cm離してご使用ください。凍傷を起こすおそれがあります。
⊘	純正品以外の付属品（エアホースなど）を使用しないでください。事故やケガ、製品の破損の原因となります。
⊘	ローションボトルを落としたり投げたりしないでください。ガラス製ですので、割れて事故やケガの原因になるおそれがあります。
⊘	泥酔した時や体調不良など、感覚が鈍くなっている時には使用しないでください。事故やケガのおそれがあります。
⚠	お子さまやおひとりでご使用になれない方には使用させないようにしてください。事故やケガ、製品が破損するおそれがあります。
⚠	炭酸ガスカートリッジを装着する際は、顔や手に炭酸ガスがかからないようにご注意ください。
⚠	本品を長期間保管する際は、ガスを使い切ったあと、炭酸ガスカートリッジを取り外した状態で保管してください。
⚠	本品を使用しない際は、開閉ハンドルを「CLOSE」方向に止まるまで回し、ガスが出ない状態にしてください。
⚠	炭酸ガスカートリッジは、リサイクルポンペを使用しないでください。